

問題8 保証債務に関する次のア～オの記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- ア 特定物の売買契約が売主の債務不履行により解除され、売主が代金返還債務を負担していたときは、売主のための保証人は、当該代金返還義務について保証の責任を負わないというのが判例の立場である。
- イ 主たる債務者が債権者に対して反対債権を有している場合に、保証人が債権者から保証債務の履行を請求されたときは、右相殺権行使によって主たる債務者がその債務を免れるべき限度において、保証債務の履行を拒むことができる。
- ウ 債権者が保証人に債務の履行を請求したときは、保証人は、常に、まず主たる債務者に催告をすべき旨を請求することができる。
- エ 債権者が保証人の催告の抗弁権に従い主たる債務者に催告をした後であっても、保証人が主たる債務者に弁済をする資力があり、又は、執行が容易であることを証明したときは、債権者は、まず主たる債務者の財産について執行をしなければならない。
- オ 催告の抗弁、検索の抗弁により保証人の請求又は証明があつたにもかかわらず、債権者が催告又は執行をすることを怠つたために主たる債務者から全部の弁済を得られなかったときは、保証人は、その義務を全て免れる。

- 1 ア・エ
- 2 ア・ウ
- 3 イ・エ
- 4 イ・オ
- 5 ウ・オ

問題9 債権譲渡に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

- 1 Aは自らの肖像画を画家Bに描かせる債権を、Cに譲渡することができる。
- 2 債権者Aと債務者Bが債権の譲渡を禁止し、又は制限する旨の意思表示をしていたにもかかわらず、AがCにその債権を譲渡した場合には、その譲渡の効力は生じない。
- 3 医師Aが、社会保険診療報酬支払基金から将来支払いを受けるべき診療報酬債権をBに譲渡したとしても、その譲渡の効力が生じることはない。
- 4 債権者Aは、債務者Bに対して有する債権をCに譲渡し、その旨2020年5月1日の確定日付ある証書によってBに通知したところ、この通知は、同月7日にBに到達した。また、Aは、同じ債権をDにも譲渡し、その旨を2020年5月2日の確定日付ある証書によってBに通知したところ、この通知は、同別5日にBに到達した。この場合、BはCから債務の履行を求められたときは、これに応じなければならない。
- 5 債権者Aは、債務者Bに対して有する債権をCに譲渡し、その旨を確定日付のある証書によってBに通知したが、Bはその通知がなされる前にAに対する債権を取得した。この場合、Bは、Cから債務の履行を求められたときは、Aに対する債権による相殺をもってCに対抗することができる。